

品川で朝を迎える

夜明け前のトワイライトタイム。1日の始まりを告げる逞しい太陽のオーラは、今日も素晴らしい晴天を約束してくれるかのようであった。東京に住む親戚の結婚式に出席するために、神戸より前日に上京し品川駅前のホテルに宿泊した。馴れない枕のせいか夜明け前に目が覚めてしまった。窓から東方をぼんやりと眺めていた。品川駅もこの時間ともなるとチラホラと人影が足早に見え隠れする。

この品川駅の歴史は古い。1872（明治5）年に駅舎は完成し、新橋駅より横浜駅間が開業した日本最古の鉄道駅の一つである。当時品川駅の線路沿いの東側は、すぐ海が迫り東京湾が広がっていた。130年余りたった今、東京湾の海は遙か沖まで埋め立てが進み、都内有数のオフィス街及び高層マンション街へと変貌を遂げている。



一方駅西側は高級ホテルが林立しており、私はその中の品川プリンスホテル（日本最大級の3679客室）に宿泊した。朝食はバイキング形式で好きなものを好きなだけ食べた。ふと天井を見上げると空はすっかり太陽も上り素晴らしい日本晴れであった。

品川駅をもう一度見てみると多くの人を運ぶ、新幹線、JR 東海道線、山手線、京浜急行電鉄、そしてバスが目まぐるしくフル稼働していた。東京は元気であった。 撮影 2011年春

